

# 民児協だより



— 支えあう 住みよい社会 地域から —



## まなざし

山北町民児協では、長年続けてきた町外の高齢者施設での奉仕活動を、29年度から町内の幼稚園、保育園、子ども園、小中学校へと活動の場所を転換しました。

写真は卒業式を前に、民生委員児童委員が小学校の除草と清掃をしている様子です。

当日は、4年生と一緒に、集められた雑草や枯枝を運ぶなどの活動をしました。

時折会話をしながら、子ども達とともに和やかな時を過ごすことができました。今まで以上に子ども達と接する機会を増やし、園や学校など子ども達に関わる機関との連携を深めることで、いち早く子どもやその家庭の課題を把握し、共有していくことが、地域の子ども子育て支援へとつながっていければと考えています。

(山北町民生委員児童委員協議会)

●特集① 委員同士で困ったことを話し合うときのヒント  
～エコマップの活用～

- 特集② 神奈川県の平成30年度重点的な取り組み（地域福祉課・子ども家庭課）
- 特集③ 平成30年度県民児協事業計画・予算 ●通信員だより



特集①

# 委員同士で困ったことを話し合うときのヒント ～エコマップの活用～

今回は、泉恵造氏（泉恵造研修企画工房 代表社員）を講師とし開催しました平成29年度リーダー研修Ⅰ～Ⅳ（神奈川県・横須賀市主催、(福) 神奈川県社協実施主体）で紹介された内容をもとに、より効果的に事例検討が進む工夫について紹介します。また、事例検討のポイントも併せてお伝えします。

住民のさまざまな課題と向き合いながら活動している民生委員児童委員（以下、委員）。ときには、住民からの相談事をどこにつなげばよいか、または、誰に相談したらよいか不安を抱くことがあるのではないのでしょうか。

そのときに、「事例検討」という場で、委員の仲間と話し合い、今後の見通しを立てることも一つの方法です。

## 事例検討は困ったことの話し合いの場

事例検討というと難しく感じるかもしれません。しかし、「困ったことの話し合い」が事例検討と言えます。委員の悩みや想いを共有し、その話の中で何が課題なのかを考え、話し合っていくための場です。

では、具体的にどのようなすれ

ばこの話し合いの場が効果的に進められるでしょうか。分かりやすく4つに整理しました。

### ① 進行役を決める

進行役は、「話し合うときの約束（左資料）」や「意見交換のコツ（下資料）」を参加者に伝え、参加者が安心して意見を発言できるように配慮します。

### ★話し合うときの約束

1. 積極的に発言しましょう
2. まわりの意見を聞きましょう
3. 恥ずかしがらないようにしましょう
4. リラックスしましょう
5. 時間を守りましょう

### ★意見交換のコツ

- 多数歓迎  
（アイディアの量は多いほどOK）
- 自由奔放  
（意見には制約はありません）
- 便乗発展  
（周囲のアイディアを参考に発想を膨らませましょう）
- 批判厳禁  
（安心して発言してよい場であることを伝えます）

また、「話し合うときの約束」は用紙に印刷して、参加者の目に触れるように机に置いて示す方法も一つかもしれません。

### ② 事例を用紙に整理する

簡単なあらすじを書き出すだけで構いません。頭で考えるよりも

客観的に事例を見渡すことができます。また、事前に用意しておく、時間を短縮できます。

### ③ 事例を紹介する

事例検討の参加者と事例内容を共有するため、②で書き出した用紙をもとに事例提供者が紹介します。

### ④ 事例の内容を深める

事例の紹介をもとに、他の委員は、もう少し詳しく確認したいことや不明なことなど自由に質問します。そして、事例提供者は、分かる範囲で答え、より事例の内容を深めます。

このように事例を複数の目で深めることで、自分が何に悩んでいたのか整理され、これまで気が付かなかった課題や今後の対応などに気付くことにつながります。

## エコマップで見える化

この事例内容を深めるときに効果的なのが「エコマップ（3ページ図参照）」という手法です。エコマップとは、支援を必要とする人を中心にその課題に関わる（と思われる）関係者や関係機関・団体を関係性によって異なる線でつながり表したものです。

たとえば、近隣に住んでいるAさんについて考えてみましょう。Aさんを中心にエコマップを作成すると下図のようになります。

あらためて、エコマップで整理すると、険悪な状態である娘と友人Cがつながっていることが分かります、友人Cは協力者になりうるかもしれません。さらに、Aさんは、地域包括支援センターとの接点がないことが読み取れますので、「地域包括支援センターと一緒に相談してみないか」とアドバイスもできるでしょう。

このように、事例用紙だけだと見えづらいことも、エコマップをみんなを確認することで、今後の活動の見通しがつきやすくなります。

つなぎ先を整理するために  
エコマップを活用する

委員は、地域課題の解決者ではありません。見守っている対象者を専門機関・団体や専門職に「つなぐ役割」と言えます。

そこで、どこに情報を提供すればよいか、また、つなげばよいか検討するときこのエコマップを活用してみてください。

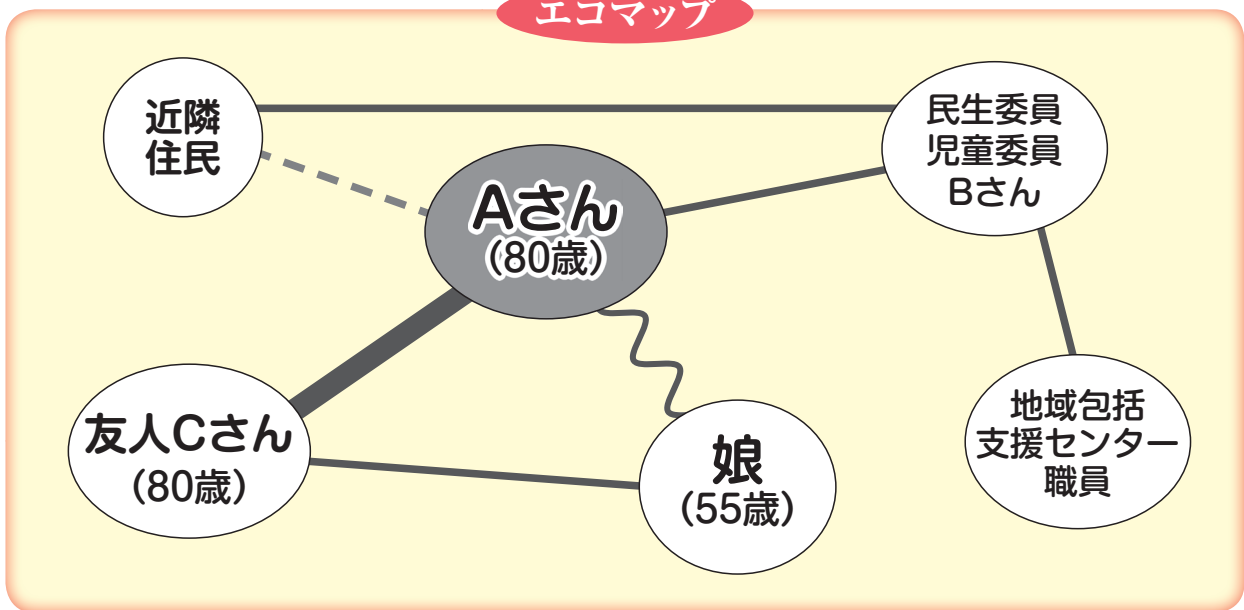
事例

一人暮らしのAさん（男性・80歳）について、「最近、火の元の消し忘れが続いている」と近隣住民から民生委員児童委員のBさんに連絡が入りました。そこで、地域包括支援センターからパンフレットをもらい、BさんがAさんに介護サービスを勧めましたが、「お上の世話にはならん」と怒鳴られ、なかなか耳を傾けてくれません。

近隣住民は、Aさんから怒鳴り散らされるようになっており、Aさんと距離を置き始めました。遠方に住む一人娘（55歳）は、十数年前にAさんともめて家を出て行ってから、ほとんど連絡をとっていないようです。と言っても、一人娘はAさんのことが気になるので、長年Aさんと付き合いがあるCさん（男性・80歳）に定期的に様子を聞いているようでした。

Aさんがこれ以上、近隣住民と関係性を悪化させないよう声掛けをしています但心配です。

エコマップ



関係線

- 良好な関係 (Solid line: Good relationship)
- 希薄な関係 (Dashed line: Thin relationship)
- ~~~~ 険悪な関係 (Wavy line: Hostile relationship)
- 普通の関係 (Thin solid line: Normal relationship)
- 無線 関係なし (No line: No relationship)





## 特集②

## 神奈川県の子どもの未来を担うための重点的な取り組み

民生委員児童委員、主任児童委員に関わる主な行政施策について紹介いただきます。

## 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課

## ◆民生委員制度の広報を進めてまいります

昨年度は、民生委員制度創設100周年の節目の年であり、県としても、記念事業への協力や、5月の民生委員・児童委員の日に合わせた県のたよりの特集記事の掲載を行いました。

また、ゴールデンウィーク庁舎公開では毎年パネル展示及びパンフレット配布を行っており、今年度は、貴協議会の作成されたPR用DVD上映を行いました。

これからも、地域で民生委員制度の理解が深まるよう、様々な広報に力を入れていきます。

## ◆「ともに生きる社会かながわ憲章」の実現に向けた県の取り組み

県は、平成28年10月に策定した「ともに生きる社会かながわ憲章」の実現に向け、すべての人のいのちを大切に、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現するため、障がい者の社会参

加を促進する取り組みを、県民総ぐるみの体制で展開します。

あわせて当課では、障がい者や高齢者が容易に移動できる環境を整備し社会参加を促進するため、タクシー事業者等の福祉タクシー車両購入に対し補助を行うとともに、障がい者等の権利擁護を推進するため、成年後見制度の相談や法人後見の支援等を行っていきます。

民生委員・児童委員の皆様におかれては、これから県の施策にご理解とご協力を賜りますよう、これからもお力添えのほど、よろしく申し上げます。



## 神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども家庭課

県では、「子どもみらいをスマイル100歳に!」を今年のテーマとし、子どもたちが100歳までスマイルで過ごせる持続可能な社会の実現をめざした取組を進めています。

それに合わせて、今年4月から県庁組織を再編して、共生社会の実現をめざすとともに、児童虐待の増加や子どもの貧困、ひきこもり・非行問題など、子ども関連施策を切れ目なく一体的に推進するため、新たに「福祉子どもみらい局」を設置しました。

一方、国の「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」が取りまとめた「新しい社会的養育ビジョン」では、平成28年の児童福祉法改正を受け、代替養育における「家庭と同様の養育環境」原則に関して乳幼児から段階を追っての徹底や、家庭

養育が困難な子どもへの施設養育の小規模化・地域分散化・高機能化を始めとする改革項目について、目標年次をめざし計画的に進めることとされるなど、社会的養育は大きな変革の時期を迎えています。

こうした中、社会における養育という点で、民生委員・児童委員の皆様には、日頃の活動の中で、身近な相談相手としての役割を担っていただき、改めて地域の中の顔の見える関係が大変に有効であると認識しています。今後も、子どもたちが健やかに成長できるよう、地域の身近な支援者として、また支援が必要な子どもや家庭を発見し、支援に繋げていただくための架け橋として、引き続き、子どもや家族に寄り添った支援をお願いいたします。

特集3

# 平成30年度 県民児協 事業計画・予算

去る、3月30日(金)開催の平成29年度第2回総会において、平成30年度事業計画及び予算が承認されました。そこで、今回は、重点目標および主な事業についてご報告します。

## 4つの重点目標

### 1. 個別支援活動の基本となる幅広い知識の習得

地域での生活上の課題を抱える世帯に対し、必要に応じて支援機関につなげていくための取り組みは今後も継続していくこととなります。支援が必要な世帯の発見、支援機関等へのつなぎ、あせらず見守る等の工夫も求められ、地域住民の様々な暮らしぶりに対する対応力を備えるべく、委員一人ひとりが幅広い知識を習得できるための活動を支援します。

### 2. 子どもや子育て世帯を地域で支えるための活動の推進

わたしたち全員が児童委員であるという自覚をもち、これまでの子どもや親子への声掛けや見守り、こんにちは赤ちゃん事業への協力、子育てサロン等の活動に加え、子育て関係機関や学校等と連携し、生活上の課題を抱える親子の発見、支援につなげられる活動を進めていきます。

### 3. 民生委員児童委員活動を支える基盤づくりの強化

民生委員児童委員活動を進める上で、地域や関係機関との連携が不可欠です。地域での委員の役割が期待されている中、委員活動を円滑に進めるために、委員活動への理解を得られるよう関係機関との連携等にも注力していきます。また、近年、委員の委嘱や欠員等の課題が残る中、やりがいをもって委員を継続していけるよう、円滑な民児協活動や民児協運営の支援のために、関係機関のみならず、私たちの活動を支える市町村民児協事務局との連携強化にも取り組んでいきます。

### 4. 神奈川県民児協設立50周年に向けた取り組み

2019(平成31)年度の県民児協設立50周年に向け、県内各市町村民児協等との連携強化を推進していくための取り組み等をすすめます。

## 事業内容

#### ◎会務の運営

本会事業の企画・運営(正副会長会議、常任理事会、理事会、監事会)。

事業計画・予算や事業報告・決算などの審議・議決(総会)。

#### ◎企画調整機能の強化

広報委員会や機関紙の企画・編集、通信員連絡会を行う。

#### ◎市町村民児協事務局との連絡調整

市町村民児協事務局との連絡調整・情報支援等により連携を深める。

#### ◎関係機関・団体との連絡調整

児童相談所所長との連絡調整会議、県担当課との懇談会の開催。

#### ◎互助共励事業の実施

会員の傷病時の見舞金や委員本人・配偶者死亡時の弔慰金給付、退任記念品の贈呈。

#### ◎補助・助成事業の実施

「地域福祉活動促進費」を全市町村民児協に、地域特性に応じた事業を行なう「活動推進事業」助成金を交付。また、ブロック別活動助成、指定地区民児協への事業費助成、活動保険掛金助成。

#### ◎児童委員活動の強化(基盤づくり)

児童委員活動基盤づくり委員会、

児童委員・主任児童委員連絡会議、

児童委員・主任児童委員活動推進

会議を活用し、児童委員と主任児

童委員の活動上の課題を整理する。

#### ◎研修事業の実施

本会主催研修事業の実施

①市町村会長研修会②地区会長研

修会③課題別集中講座④児童委

員・主任児童委員活動推進会議

県・横須賀市主催事業への協力

①新任民生委員児童委員研修会②

民生委員リーダー研修③民生委員

テーマ別研修

#### ◎情報提供の強化

「県民児協だより」の発行。平成31年度の一斉改選に向けたリーフレットの作成・配布。

#### ◎全国・関東ブロック会議等への参加

①全国民生委員児童委員大会②関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会③全国主任児童委員研

修会④民生委員児童委員のための

相談技法研修会⑤民生委員・児童

委員リーダー研修会⑥全国児童委

員研究協議会⑦全国民生委員指導

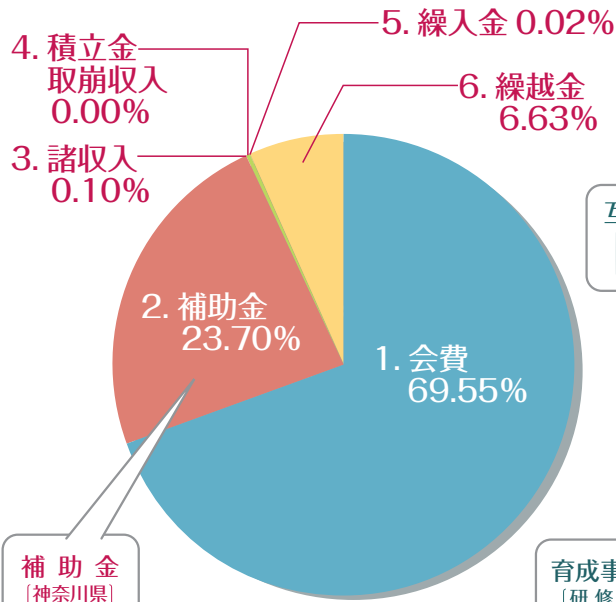
者研修会

#### ◎関係機関・団体との連携・協働

県主催の会議や共同募金運動等への参加・協力。



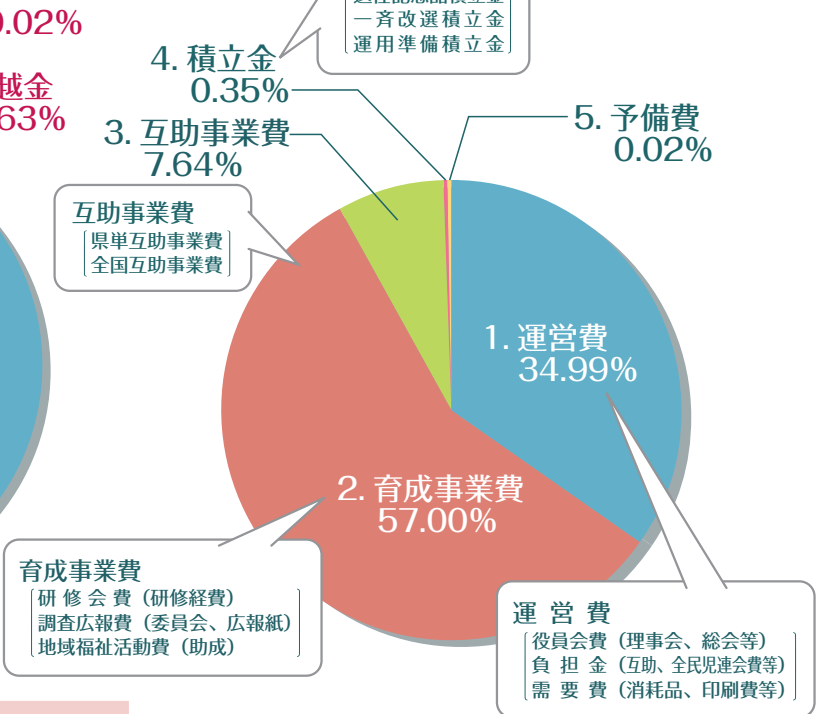
収入の部



補助金  
神奈川県  
横須賀市  
全国互助

1	会費	28,853,000円 (増減なし)
2	補助金	9,834,000円 (対前年度比 324,000円の減)
3	諸収入	40,000円 (増減なし)
4	積立金取崩収入	0円 (増減なし)
5	繰入金	10,000円 (増減なし)
6	繰越金	2,750,000円 (前年度繰越金)

支出の部



育成事業費  
研修会費 (研修経費)  
調査広報費 (委員会、広報紙)  
地域福祉活動費 (助成)

運営費  
役員会費 (理事会、総会等)  
負担金 (互助、全民児連会費等)  
需要費 (消耗品、印刷費等)

1	運営費	14,515,000円 (対前年度比 168,000円増)
2	育成事業費	23,648,000円 (対前年度比 1,593,000円増)
3	互助事業費	3,169,000円 (対前年度比 305,000円減)
4	積立金	145,000円 (対前年度比 30,000円減)
5	予備費	10,000円 (増減なし)



▲記念式典開催 (10月)



▲記念誌・記念式典講演録作成



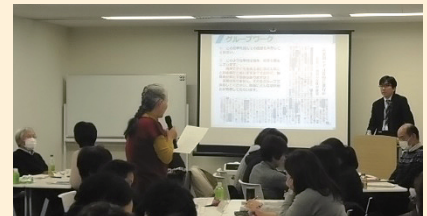
▲民生委員児童委員の魅力を伝えるDVD



▲県民児協だより取材 (通年)

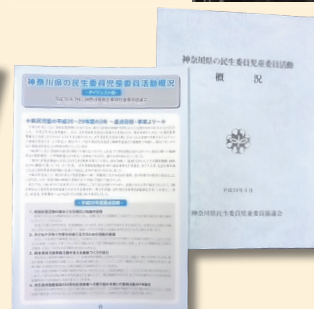
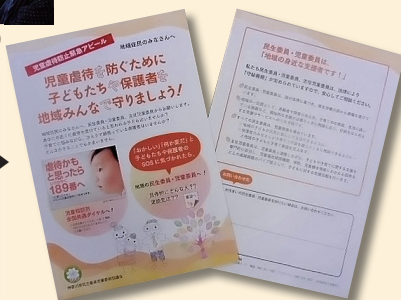
写真でみる県民児協事業 (平成29年度)

県民児協で実施している事業の一部を写真で紹介します



▲児童委員・主任児童委員活動推進会議 (2月)

県民児協版▶  
『児童虐待防止パンフレット』作成



◀『神奈川県の子生委員児童委員活動概況』発行

# 通信員だより

## 秦野市

### 民生委員制度創設 100周年のPR活動

通信員 田村 正一

秦野市民児協では、昨年の民生委員制度創設100周年をPRする、様々な活動を行いました。5月の強化週間には、市内の小田急線4駅にて、PR用のパンフレットとポケットティッシュを配布しました。

同じく5月には、各地区民児協がそれぞれの活動を紹介するパネルを作成しました。完成したパネルは、6月からまず活動拠点の公民館のホールに展示し、PRしました。

10月21日には民児協主催の「民生委員制度創設100周年を祝つ会」を開催しました。会場の壁には、各地区民児協が作成したパネルが並べられ、参加者も興味深く見ていました。



11月3日の市民の日には、民児協コーナーを設け、活動紹介のパンフレット配布や、児童虐待防止のオレシジリボン運動の啓発活動を行いました。文化会館のホールにはパネルを展示しました。

2月4日の福祉センターフエスティバルでは、廊下にパネルを並べて展示しました。

民生委員児童委員を紹介する、これらの活動を今後も続けていきたいと思っております。

## 座間市

### 昔遊びの先生として 一年生の授業から

通信員 稲垣 文野

座間市内に6地区ある民児協の中の第二地区民児協(26名)の活動をご紹介します。

地区内のひばりが丘小学校から二年生の授業の中で昔遊びを教えて欲しい。」との依頼を受けて今年で2年目になります。

昔遊びは、竹馬・かんぼつくり、羽根つき、お手玉、こま、けん玉、おはじき、あやとり等の7種目です。民生委員児童委員同士で話し合い、担当する種目を決めました。

当日は体育館に集合、一年生も7、9人のグループを作り、いよいよ授業が始まりました。1つの遊びは15分、先生の笛の合図で次の遊びに移動します。なかなかできない子、上手にできる子、中には先生役の民生委員児童委員より上手にできる子がいて、子ども達も教える民生委員も共に楽しんだ2時間は、あつと言つ間に過ぎてしまいました。

校長先生からは「意義のある授業でした。来年もよろしくお願いします。」と嬉しい言葉を頂きました。後日、二年生全員から二年懸命な可愛いお礼の手紙が届き、民生委員児童委員一同感激し元気を頂きました。来年はどんな一年生に会えるのか今から楽しみにしています。



## 開成町

### 「ふれあい大会」への協力 若い世代との交流

通信員 碓井 尚子

開成町では、若い世代が増加しています。町内には小学校が2校あり、私たち民生委員児童委員は、毎月2回の登校時見守り活動や、学校公開日における授業参観などを通じて、子どもたちとの関わりを大切にしています。

特に毎年両校で行われる「ふれあい大会」への協力は、多くの子どもと直接触れ合うことができる、楽しい機会となっています。土曜日の午前中、両校の体育館や教室を利用して、様々なゲームや工作、フリーマーケットなどが行なわれ、子どもたちだけでなく大人も楽しめます。

私たちは、例年2校に分かれて、綿菓子無料配布と「カールレット」体験を行っており、昨年は合計800人程の参加がありました。「カールレット」は長机で行う、卓上カールリングです。初めてでも何回か練習すれば、すぐにゲームができるので、親子で挑戦したり、何度も列に並んだり、皆さん熱心にプレーされていました。

当日交流した保護者とは、地域に戻っても気軽に挨拶できるよになり、若い世代に民生委員児童委員を知ってもらう貴重な機会であり、これからも楽しく続けていきたいと思っております。

